



UNAIDS プレスリリース

UNAIDS HIV に関する誤解や迷信の払拭を呼びかけポスター展

2025年9月2日 ジュネーブ HIVとエイズに関する様々な誤解を払拭するため、国連共同エイズ計画（UNAIDS）はスイス・ジュネーブのレマン湖畔で9月1日から大規模なポスター展を開催しています。HIVというウイルスについては、もう十分な知識を持っている人が多いようですが、実は様々な誤解が広がったままになっています。最初のHIV感染症例が確認されてからすでに40年以上が経過しているのに、誤った情報とスティグマ・差別は依然として根強く残っているのです。しかも残念なことに、情報格差はむしろ拡大しており、その傾向はとりわけHIVの影響を最も受けやすい若者の間で顕著になっています。

「今日では、情報はあふれるほどにあるのに、それでもHIVについて十分な知識を持っている人が多いとは言えません」とUNAIDSのクリスティン・ステグリング事務局次長は述べています。「今回の展示は、HIVに関する現状を知ってもらい、人びとが自らを守る手段について学ぶとともに、思いやりをもってHIV陽性者を支えられるようになることを目指しています」

UNAIDSは2024年の年間新規HIV感染者数を130万人と推定しています。つまり1日平均3500人が新たに感染しているのです。そして世界全体のHIV陽性者4080万人のうち4分の3以上の人々が治療を受けているのに、それでもなお2024年には毎分1人がエイズ関連の原因で亡くなっています。しかも、HIV陽性者は依然、スティグマや差別に直面しており、このことが、HIVの新規感染予防を妨げ、HIV陽性者自身の生命と健康を維持する治療も含めたHIVサービスへのアクセスを阻んでいます。事実を知り、誤解と迷信を払拭することで、スティグマを打ち破り、誰もが差別を受けることなく安心してHIVサービスを利用できるようにしなければなりません。

「HIVは予防可能です。適切な治療を受けることで、HIV陽性者は健康を維持でき、なおかつ他の人にウイルスが感染することもなくなります。それなのに新たな感染がいまなお発生しています」と、ジュネーブ病院（HUG）感染症HIV部門のアレクサンドラ・カルミー教授は説明しています。「認識を広げ、スティグマと闘うためのこうしたキャンペーンはジュネーブだけでなく、どこでも不可欠です」

UNAIDS は、多くの方が事実を知ること、HIV に関する誤解をなくし、広く検査を受けられるようにするため、この展示会を開催しました。

「残念ながら、ジュネーブ、およびスイス全体でも、HIV 陽性者に対する差別は依然、存在しています」と、HIV 陽性者ネットワーク (PVA) のロッコ・セナトーレ事務局長は語っています。「多くの方が HIV に関する基本的な事実を知りません。だからこそ、こうした啓発キャンペーンが重要なのです」

ポスター展はジュネーブ市が後援し、ロトンド・デュ・モンブラン (レマン湖畔の公園) で 9 月 30 日まで開催されています。

(仮訳：公益財団法人エイズ予防財団)